

第 94 回日本感染症学会学術講演会演題

会長講演

会長講演 8月19日(水) 9:00~9:20 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

司会: 岩田 敏 (国立がん研究センター中央病院感染症部)

「第94回日本感染症学会学術講演会プロローグ」

東邦大学 舘田一博

特別講演

特別講演 1 8月19日(水) 13:10~14:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

司会: 岩本愛吉 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

「HIV 治療薬 AZT 発見の物語: その後とこれから」

国立研究開発法人国立国際医療研究センター, 米国国立癌研究所・米国国立衛生研究所 満屋裕明

特別講演 2 8月20日(木) 14:25~15:15 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

司会: 河野 茂 (長崎大学)

「30年の研究を振り返って—酵母から始まったオートファジー研究—」

東京工業大学科学技術創成研究院細胞制御工学研究センター 大隅良典

特別講演 3 8月21日(金) 13:10~14:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

司会: 喜田 宏 (北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)

「新興感染症の制圧を目指して」

東京大学医科学研究所 河岡義裕

招請講演

招請講演 1 8月19日(水) 13:10~14:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

司会: 泉福英信 (国立感染症研究所細菌第一部)

「Recent insights into implant-associated infections: from basic research to clinical management」

Institute for Medical Microbiology, Virology and Hygiene University

Medical Center Hamburg-Eppendorf Holger Rohde

招請講演 2 8月20日(木) 14:25~15:15 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

司会: 土井洋平 (藤田医科大学医学部微生物学講座)

「Current and Future Directions of Antibiotic Stewardship in the US」

Section on Infectious Diseases, Wake Forest School of Medicine,

Wake Forest Baptist Health Sciences Christopher Ohl

招請講演 3 8月21日(金) 13:10~14:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

司会: 尾内一信 (川崎医科大学小児科学講座)

「Enhancing vaccine safety capacity globally: a lifecycle perspective」

Brighton Collaboration Robert T. Chen

緊急企画

「COVID-19 シンポジウム—私たちの経験と英知を結集して②—」

8月20日(木) 17:10~19:30 第1会場 (B1F パレロワイヤルA)

司会: 脇田隆字 (国立感染症研究所)

館田一博 (東邦大学)

- | | | |
|-----------------------|------------|------|
| 1. 基調講演 COVID-19 との対峙 | 地域医療機能推進機構 | 尾身 茂 |
| 2. ウイルス学的特徴からの考察 | 国立感染症研究所 | 松山州徳 |
| 3. 疫学・クラスター対策からの考察 | 東北大学 | 押谷 仁 |
| 4. 臨床症例からの考察 | 防衛医科大学校 | 川名明彦 |

「COVID-19 シンポジウム—私たちの経験と英知を結集して③—」

8月21日(金) 17:00~19:30 第3会場 (B1F パレロワイヤルC)

司会: 吉田正樹 (東京慈恵会医科大学)

和田耕治 (国際医療福祉大学)

- | | | |
|-----------------|--------------|-------|
| 1. 診断的視点からの考察 | 東邦大学 | 館田一博 |
| 2. 治療学的視点からの考察 | 国立国際医療研究センター | 大曲貴夫 |
| 3. 感染対策の視点からの考察 | 慶應義塾大学 | 長谷川直樹 |
| 4. 研究的視点からの考察 | 国立感染症研究所 | 脇田隆字 |

基調講演

基調講演 1 8月19日(水) 14:10~14:50 第2会場 (B1F パレロワイヤルB)

司会: 相川直樹 (慶應義塾大学)

「メカニズムから考える一歩先の敗血症治療」

名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野 松田直之

基調講演 2 8月19日(水) 14:10~14:50 第3会場 (B1F パレロワイヤルC)

司会: 一山 智 (滋賀県立総合病院)

「モノクローナル抗体から抗体医薬への応用」

島根大学医学部生化学講座 (病態生化学分野), 株式会社 mAbProtein 浦野 健

基調講演 3 8月19日(水) 14:10~14:50 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)

司会: 八木澤守正 (慶應義塾大学薬学部創薬物理化学講座)

「“機能水”の科学/化学と感染制御への活用」

一般財団法人機能水研究振興財団 堀田国元

基調講演 4 8月20日(木) 15:20~16:00 第2会場 (B1F パレロワイヤルB)

司会: 岩田 敏 (国立がん研究センター中央病院感染症部)

「ワクチンアジュバント開発研究の新展開」

東京大学医科学研究所ワクチン科学分野, 医薬基盤健康栄養研究所,

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 石井 健

基調講演 5 8月20日(木) 15:20~16:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)
(日本プライマリ・ケア連合学会連携企画)

司会：館田一博 (東邦大学)

「総合診療医と感染症医の連携—求められる知識と経験—」

大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座 鈴木富雄

基調講演 6 8月20日(木) 15:20~16:00 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

司会：工藤翔二 (結核予防会)

「マクロライドの不思議な作用：進化を続けるマクロライド療法」

徳島大学先端酵素学研究所 木戸 博

基調講演 7 8月20日(木) 15:20~16:00 第5会場 (B1F シャトレ)

(日本感染症医薬品協会連携企画)

司会：堀田国元 (一般財団法人機能水研究振興財団)

「日本ペニシリン物語—『碧素アンプル』の「重要科学技術史資料」登録を記念して—」

慶應義塾大学薬学部創薬物理化学講座, (元) 日本抗生物質学術協議会 八木澤守正

基調講演 8 8月21日(金) 14:10~14:50 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

司会：増田剛太 (がん・感染症センター・都立駒込病院感染症科)

「NTD に対峙して」

特定非営利活動法人 DNDi Japan, 北里大学 山田陽城

基調講演 9 8月21日(金) 14:10~14:50 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

(日本医師会連携企画)

司会：藤田次郎 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学)

「かかりつけ医における抗微生物薬の適正使用のために」

公益社団法人日本医師会 釜薙 敏

基調講演 10 8月21日(金) 14:10~14:50 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

司会：岸 一馬 (東邦大学医療センター大森病院呼吸器センター (呼吸器内科))

「アレルギー性内因性感染症としてのサルコイドーシス病因論」 東京医科歯科大学人体病理学分野 江石義信

教育講演

教育講演 1 8月19日(水) 9:25~9:55 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

司会：金光敬二 (福島県立医科大学感染制御学講座)

「日米の感染症事情の違い～両国の臨床現場での経験から～」 東京大学医学部附属病院感染症内科 岡本 耕

教育講演 2 8月19日(水) 9:25~9:55 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

司会：前崎繁文 (埼玉医科大学感染症科・感染制御科)

「マヒドン大学熱帯医学研修—タイの医療事情から何を学ぶか—」

日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部 小林謙一郎

教育講演 3 8月21日(金) 9:40~10:10 第9会場 (29F 光)

司会：草地信也 (東邦鎌谷病院外科・胸部外科)

「欧米のエビデンス, 日本のサイエンス—肺移植の周術期感染症対策を例に—」

東北大学病院臓器移植医療部, 東北大学加齢医学研究所呼吸器外科分野 平岡 崇

教育講演 4 8月19日(水) 9:25~9:55 第5会場 (B1F シャトレ)

司会：竹村 弘 (聖マリアンナ医科大学微生物学教室)

「鉄代謝からみた感染症—診断, 治療への応用に向けて—」

新潟大学医歯学総合病院, 新潟大学医学部呼吸器・感染症内科 茂呂 寛

教育講演 5 8月19日(水) 9:25~9:55 第6会場 (B1F エトワール)

司会：宮入 烈 (国立成育医療研究センター生体防御系内科部感染症科)

「内科医も知っておきたい小児感染症の特殊性」

名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部 手塚宜行

教育講演 6 8月19日(水) 9:25~9:55 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(日本細菌学会会員企画)

司会：横田伸一 (札幌医科大学医学部微生物学講座)

「病原体と宿主のせめぎ合い—結核菌を例に—」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔微生物学分野 大原直也

教育講演 7 8月19日(水) 9:25~9:55 第8会場 (29F 銀河)

司会：春木宏介 (獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部)

「グローバル化時代に熱帯医学や国際感染症をどう学ぶか」

長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野, 長崎大学病院感染症内科,

長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科 有吉紅也

教育講演 8 8月20日(木) 9:40~10:10 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

司会：岩崎博道 (福井大学感染制御部)

「日本紅斑熱の発見と関連疾患の新展開」

馬原医院 馬原文彦

教育講演 9 8月20日(木) 9:40~10:10 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

司会：神谷 茂 (杏林大学保健学部)

「CDI発症のメカニズムとマイクロバイーム」

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 山口哲央

教育講演 10 8月20日(木) 9:40~10:10 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

司会：中村(内山) ふくみ (東京都立墨東病院感染症科)

「目指せ!維持して!専門医」

(一社)日本感染症学会感染症専門医試験委員会委員長, 慶應義塾大学医学部小児科 新庄正宜

教育講演 11 8月20日(木) 9:40~10:10 第5会場 (B1F シャトレ)

司会：森兼啓太 (山形大学医学部附属病院検査部)

「Non-touch disinfection system を用いた感染対策の有用性」

広島大学大学院医系科学研究科外科学 北川浩樹

教育講演 12 8月20日(木) 9:40~10:10 第6会場 (B1F エトワール)

司会：中野貴司 (川崎医科大学小児科学)

「Vaccine Heritage & Hesitancy」

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科 森内浩幸

教育講演 13 8月20日(木) 9:40~10:10 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

司会：斎藤武文 (独立行政法人国立病院機構茨城東病院内科診療部呼吸器内科)

「漢方薬の感染症に対する効果」

千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学 巽浩一郎

- 教育講演 14 8月20日(木) 9:40~10:10 第8会場(29F 銀河)**
 司会：大西 真(国立感染症研究所)
 「性感染症として広がる肝炎の現状と問題点」
 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野 四柳 宏
- 教育講演 15 8月21日(金) 9:40~10:10 第1会場(B1F パレロワイヤルA)**
 司会：堀 誠治(東京慈恵会医科大学感染制御科)
 「抗菌薬の臨床開発の現状と、今後の課題や留意点について」
 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 中西民二
- 教育講演 16 8月21日(金) 9:40~10:10 第2会場(B1F パレロワイヤルB)**
 司会：後藤 元(杏林大学)
 「行政・アカデミアの連携・協力の重要性」
 厚生労働省健康局結核感染症課 加藤拓馬
- 教育講演 17 8月21日(金) 9:40~10:10 第3会場(B1F パレロワイヤルC)**
 司会：藤田次郎(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学)
 「感染症アトラス—教育ツールとしての新たな挑戦」
 広島大学病院感染症科 大毛宏喜
- 教育講演 18 8月21日(金) 9:40~10:10 第4会場(B1F パレロワイヤルD)**
 司会：光武耕太郎(埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科)
 「感染性心内膜炎—Duke に学び、Duke を超える—変わりゆく感染性心内膜炎、医療関連感染性心内膜炎を中心に」
 東京ベイ・浦安市川医療センター感染症内科 織田鎌太郎
- 教育講演 19 8月21日(金) 9:40~10:10 第5会場(B1F シャトレ)**
 司会：熊坂一成(医療法人社団愛友会上尾中央総合病院臨床検査科/感染制御室)
 「僕の考える感染症新時代—日本から世界への情報発信—」
 神戸大学大学院医学研究科 岩田健太郎
- 教育講演 20 8月21日(金) 9:40~10:10 第6会場(B1F エトワール)**
 司会：八木哲也(名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学分野)
 「“先進的感染症検査マップ” —症例と特殊検査を繋ぐ—」
 奈良県立医科大学附属病院 笠原 敬
- 教育講演 21 8月21日(金) 9:40~10:10 第7会場(B1F ヴァンドーム)**
 司会：塚田弘樹(東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部)
 「僻地で世界最先端医療を目指す—NEJM, The Lancet レビューを通して—」
 西伊豆健育会病院 仲田和正
- 教育講演 22 8月21日(金) 9:40~10:10 第8会場(29F 銀河)**
 司会：石和田稔彦(千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野)
 「CDC ガイドラインの行間を読み解く」
 浜松医療センター 矢野邦夫

特別企画

特別企画 1 東京オリンピック・パラリンピック特別企画

特別企画 1-1 8月19日(水) 9:25~9:55 第1会場(B1F パレロワイヤルA)

司会：岡部信彦(川崎市健康安全研究所)

「インバウンド感染症クイック・リファレンス～東京2020大会にむけて～」

防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器) 川名明彦

特別企画 1-2 8月19日(水) 10:00~12:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「マスギャザリングと感染症 “事例から学ぶ”」

司会：川名明彦（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器））

賀来満夫（東北医科薬科大学医学部感染症学教室）

1. 侵襲性髄膜炎菌感染症 国立感染症研究所細菌第一部 高橋英之
2. 麻疹, 風疹, 水痘 日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室 根井貴仁
3. 結核 結核予防会結核研究所抗酸菌部 御手洗聡
4. 新型コロナウイルス感染症 現時点での治療のエビデンス 国立国際医療研究センター 忽那賢志

特別企画 2 8月19日(水) 14:10~15:10 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

(日本化学療法学会連携企画)

「AMED, NIID が考える “明日の感染症研究” —ネットワーク活用とデータシェアリングの視点から—」

司会：館田一博（東邦大学/第94回日本感染症学会総会・学術講演会会長）

竹末芳生（兵庫医科大学/第68回日本化学療法学会総会・学術集会会長）

1. 広域連携・分散統合による医療研究の課題解決 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 末松 誠
2. 国立感染症研究所からみた、明日の感染症研究 国立感染症研究所 脇田隆志

特別企画 3 8月20日(木) 9:40~12:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「感染症の今日の問題点」

司会：狩野繁之（国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部）

1. 寄生虫症からかいま見える現代日本社会

宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野, 宮崎大学産業動物リサーチセンター 丸山治彦

司会：亀井克彦（千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野）

2. 真菌感染症—診断・治療に山積する課題と将来展望— 帝京大学大学院医学研究科医真菌学 横村浩一

司会：石田 直（倉敷中央病院呼吸器内科）

3. 肺非結核性抗酸菌症—なぜ治らないのか, 臨床と文献からの考察— 近畿中央呼吸器センター 鈴木克洋

司会：森内浩幸（長崎大学大学院医学研究科新興感染症病態制御学系専攻）

4. グローバル化時代における新興ウイルス感染症の脅威と対策

国際医療福祉大学医学部感染症学 加藤康幸

特別企画 4 8月20日(木) 15:20~17:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「感染症を究める」

司会：古川恵一（国保旭中央病院感染症センター）

大曲貴夫（国立国際医療研究センター病院国際感染症センター）

1. “病理” つつみ病理診断科クリニック 堤 寛
2. “画像”：呼吸器感染性の画像診断 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床腫瘍学 芦澤和人
3. “診察” 群星沖縄臨床研修センター 徳田安春

特別企画 5 8月20日(木) 8:00~9:50 第9会場 (29F 光)

「最新感染症オミクス研究の潮流」

司会：丸山史人（広島大学学術・社会連携室環境遺伝生態学）

森田鉄兵（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

1. マルチゲノミック解析による非結核性抗酸菌の環境適応機構解明と対応技術基盤構築

Office of Academic Research and

Industry-Government Collaboration, Hiroshima University Fumito Maruyama

2. Identification of novel drug targets for tuberculosis treatment using functional genomic approaches

Fujita Health University, University of Minnesota, Medical School Yusuke Minato

3. オミクス研究が明かす多階層での遺伝子発現の制御様式

Institute for Advanced Biosciences, Keio University Teppei Morita

※予定していた海外演者の講演がキャンセルのため司会者が代替講演を行います。

特別企画6 8月21日(金) 14:10~16:50 第1会場 (B1F パレロワイヤルA)

「感染症研究のすすめ」

司会：中村茂樹（東京医科大学微生物学分野）

1. 自然免疫研究の興隆と真菌感染症研究のブレイク—宿主応答を踏まえた感染症研究のすすめ

東北大学大学院医学系研究科感染分子病態解析学分野、

東北大学大学院医学系研究科感染制御インテリジェンスネットワーク寄附講座 川上和義

司会：宮下修行（関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科）

2. 一呼吸器感染症研究を例に—

米国国立衛生研究所、慶應義塾大学医学部呼吸器内科 南宮 湖

司会：佐藤淳子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構国際部）

3. 一ASP研究を例に—

東京大学医学部附属病院薬剤部 高山和郎

司会：尾内一信（川崎医科大学小児科学講座）

4. 一小児の臨床研究の面白さ・難しさ—

新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 齋藤昭彦

イブニングシンポジウム**イブニングシンポジウム1 8月19日(水) 17:30~19:00 第1会場 (B1F パレロワイヤルA)**

(共催：ファイザー株式会社)

「東京オリンピック、パラリンピックを迎えるにあたって～国内外の専門家に学ぶ～」

司会：鈴木 基（国立感染症研究所感染症疫学センター）

1. Communicable disease in mass gatherings

Centre on Global Health Security, Royal Institute of International Affairs,

Chatham House, London Brian McCloskey

2. マスギャザリングにおける感染症対策

国立感染症研究所感染症疫学センター 神谷 元

イブニングシンポジウム2 8月19日(水) 17:30~19:10 第2会場 (B1F パレロワイヤルB)

(共催：杏林製薬株式会社)

「New Drug シンポジウム～ラスクフロキサシン～」

司会：戸塚恭一（北多摩病院/東京女子医科大学）

門田淳一（国立大学法人大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座）

1. 薬理学的特性

杏林製薬株式会社わたらせ創薬センター 岸井粒太

2. 臨床成績（呼吸器科領域）

仙台赤十字病院呼吸器内科 三木 誠

3. 臨床成績（耳鼻咽喉科領域）

尚徳会ヨナハ総合病院 鈴木賢二

4. 臨床成績（臨床薬理及び安全性）

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 柳原克紀

イブニングシンポジウム3 8月19日(水) 17:30~19:00 第3会場 (B1F パレロワイヤルC)

(共催：MSD 株式会社)

「グラム陰性菌感染症治療における新たな選択肢」

司会：草地信也（東邦鎌谷病院外科）

1. 腹腔内感染症治療における抗菌薬選択

広島大学病院感染症科 大毛宏喜

2. 尿路感染症治療戦略～JAID/JSC 感染症治療ガイド2019を踏まえて～

兵庫医科大学泌尿器科学講座 山本新吾

3. 呼吸器感染症治療における新たなトピックス

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学 宮崎泰可

イブニングシンポジウム4 8月19日(水) 17:30~19:00 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)

(共催: 日本微生物学連盟)

「臨床的課題を基礎からサイエンスし解決策を探る」—インフルエンザと続発性細菌性肺炎を例として—

司会: 川上和義 (東北大学大学院医学系研究科感染分子病態解析学分野/東北大学大学院医学系研究科感染制御インテリジェンスネットワーク寄附講座)

石井 誠 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科)

1. インフルエンザと続発性肺炎への臨床的アプローチ 東北医科薬科大学医学部感染症学教室 関 雅文
2. インフルエンザウイルスによる気道上皮組織の炎症応答機構
筑波大学大学院人間総合化学研究科医学医療系感染生物学分子ウイルス学分野 川口敦史
3. インフルエンザウイルスとレンサ球菌による重感染機構
大阪大学大学院歯学研究科口腔細菌学教室 川端重忠
4. 肺炎球菌に対する免疫認識機序と肺炎の発症病態—新規ワクチン開発への展開を含めて
東北大学大学院医学系研究科感染制御インテリジェンスネットワーク寄附講座 佐藤 光

イブニングシンポジウム5 8月19日(水) 17:30~19:00 第5会場 (B1F シャトレ)

(日本医真菌学会連携企画)

「真菌感染症の発症病態と治療戦略における“新知見”—病原性と宿主応答の狭間で—

司会: 亀井克彦 (千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野)

宮崎義継 (国立感染症研究所真菌部・ハンセン病研究センター)

1. 感染症起因菌としてのムーコル 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡辺 哲
2. *Candida albicans* 細胞壁多糖で誘導される川崎病血管炎マウスモデルの血管炎発症機序と治療戦略
東邦大学医療センター大橋病院病理診断科 大原関利章
3. クリプトコックス
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野, 長崎大学病院感染制御教育センター 泉川公一
4. ニューモシステイス肺炎 (PCP) の感染病態 国立国際医療研究センター 岡 慎一
5. アスペルギルス症を中心に 東邦大学医学部病院病理学講座 栃木直文

イブニングシンポジウム6 8月19日(水) 17:30~19:00 第6会場 (B1F エトワール)

「耐性菌シンポジウム: 耐性と病原性を併せ持つ危険な進化の方向性」

司会: 木村幸司 (名古屋大学大学院医学系研究科)・大西 真 (国立感染症研究所)

1. ゲノム解析の特徴からみえる肺炎球菌の進化 慶應義塾大学医学部感染症学教室 生方公子
2. 黄色ブドウ球菌 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 山口哲央
3. グラム陰性桿菌 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野 西順一郎
4. 淋菌—耐性進化のメカニズムと方向性 国立感染症研究所 大西 真

イブニングシンポジウム7 8月19日(水) 17:30~19:10 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(共催: 塩野義製薬株式会社)

「最新のインフルエンザ治療を俯瞰する」

司会: 石田 直 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科)

1. インフルエンザ対策の確立に向けて 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 喜田 宏
2. 抗インフルエンザ薬への耐性状況
(株)リチエルカクリニカ, 日本臨床内科医会インフルエンザ研究班 池松秀之
3. インフルエンザ診療の最近の動向 琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学 (第一内科) 藤田次郎

イブニングシンポジウム 8月19日(水) 17:30~19:10 第8会場 (29F 銀河)

(共催: ギリアド・サイエンシズ株式会社)

「レムデシビルの開発と臨床成績」

司会: 川名明彦 (防衛医科大学校)

1. レムデシビルの開発の経緯と特徴
2. レムデシビルの臨床成績

東京大学医科学研究所 四柳 宏

ギリアド・サイエンシズ株式会社 Tram Tran

アフタヌーンシンポジウム

アフタヌーンシンポジウム 8月19日(水) 15:20~17:50 第9会場 (29F 光)

LIVE 配信のみ (無観客開催) (共催: ビオメリュー・ジャパン株式会社)

「抗菌薬適正使用の実践と評価~Global-PPS 抗菌薬の使用状況と耐性に関する国際調査の活用~」

司会: 賀来満夫 (東北医科薬科大学医学部感染症学教室)

1. サーベイランスから見えるもの~J-SIPHE と Global PPS~

国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター 具 芳明

2. Global-PPS に参加するメリットと調査方法

がん・感染症センター都立駒込病院 関谷紀貴

3. Global-PPS 調査結果と ABCDEF-HIT を活用した抗菌薬適正使用推進活動の実例

沖縄県立中部病院 椎木創一

シンポジウム

シンポジウム 1 8月19日(水) 10:00~12:00 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「熱血感染症教育 “感染症教育は俺に任せろ”」

司会: 山本善裕 (富山大学大学院医学薬学研究部感染予防医学講座・富山大学附属病院感染症科/感染制御部)

岡 秀昭 (埼玉医科大学総合医療センター)

1. ともに学ぶ臨床感染症学 その広がりと深み

沖縄県立中部病院感染症内科 成田 雅

2. 一人感染症医が奔走した、はじめての熱血教育

前橋赤十字病院感染症内科 林 俊誠

3. 呼吸器感染症を軸とした医学生・研修医に対する感染症教育

琉球大学医学部附属病院総合臨床研修・教育センター 原永修作

4. 救急・集中治療領域での感染症医の役割: 一番大変なところを引き受けます

三重大学医学部附属病院救命救急・総合集中治療センター, 三重大学医学部附属病院感染症内科,

三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学 鈴木 圭

シンポジウム 2 8月19日(水) 10:00~12:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「感染症データベース研究の実践—解析手法から応用・注意点まで—」

司会: 長尾美紀 (京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学)

高園貴弘 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学)

1. 感染症領域における大規模 DPC データベースを用いた臨床研究の実践

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野, 長崎大学病院感染制御教育センター 田代将人

2. 種々のデータベースを用いて抗菌薬の使用をどう明らかにしたのか

京都薬科大学臨床薬剤疫学分野 村木優一

3. 細菌ゲノム・耐性遺伝子データベースを用いたバイオインフォマティクスの課題

京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 松村康史

4. レセプトデータベースを用いた感染症疫学研究の実践

自治医科大学附属病院総合診療内科, 東京大学大学院医学系研究科 橋本英樹

シンポジウム3 8月19日(水) 10:00~12:00 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)

「新規抗感染症薬のPK/PD」

司会：辻 泰弘 (日本大学薬学部薬剤師教育センター)

浦上宗治 (佐賀大学医学部附属病院感染制御部)

1. PK/PDに基づいたタゾバクタム/セフトロザンの投与設計

愛知医科大学分子疫学・疾病制御学寄附講座, 愛知医科大学感染症科 萩原真生

2. PK/PDに基づいたリネゾリド・テジゾリドの投与設計

日本大学薬学部薬剤師教育センター 辻 泰弘

3. PK/PDに基づいたダブトマイシンの投与設計

慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座 松元一明

4. ポサコナゾールのTDMとPK/PD

東京女子医科大学病院薬剤部 浜田幸宏

特別コメント：戸塚恭一 (特定医療法人大坪会北多摩病院)

シンポジウム4 8月19日(水) 10:00~12:00 第5会場 (B1F シャトレ)

「微生物検査室から始める感染症研究—検査技師とのコラボレーション—」

司会：佐々木雅一 (東邦大学医療センター大森病院臨床検査部)

米谷正太 (杏林大学医学部付属病院臨床検査部)

1. 細菌検査から始まる薬剤耐性研究

名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学 木村幸司

2. 次世代シーケンス技術を微生物検査室へ—先端技術の現場への落とし込みを考える—

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 青木弘太郎

3. 微生物—感染症を結ぶ小さな気づき〜クリニカルからサイエンスへ〜

富山大学学術研究部医学系微生物学講座 森永芳智

4. 臨床医と臨床検査部のコラボレーションが織りなす成功体験 “Case based discussion”

杏林大学呼吸器内科 皿谷 健

特別コメント：菅野治重 (公益財団法人鹿島病院)

シンポジウム5 8月19日(水) 10:00~12:00 第6会場 (B1F エトワール)

「エキスパートに聞きたい—投与期間：shorter is better?—」

司会：藤田崇宏 (独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター感染症内科)

森 伸晃 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科・感染症センター)

1. 尿路感染症—コンベンショナルな治療期間と短期間治療

独立行政法人国立病院機構東京医療センター 片山充哉

2. 市中肺炎—目指そう, “7日間単位治療”からの脱却

けいゆう病院呼吸器内科, 慶應義塾大学医学部呼吸器内科 八木一馬

3. どこまで短くできる? 骨髄炎の抗菌薬治療

横浜市立みなと赤十字病院感染症科・感染管理室 渋江 寧

4. 腹腔内感染症の治療期間—何をどこまで短縮できるのか?

神戸市立医療センター中央市民病院 土井朝子

シンポジウム6 8月19日(水) 10:00~12:00 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(日本細菌学会会員シンポジウム)

「なるほど微生物学講座—不思議なミクロの世界—」

司会：横田伸一 (札幌医科大学医学部微生物学講座)

大原直也 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔微生物学分野)

1. *Bacteroides* と腸管病原細菌との相互作用

香川大学医学部分子微生物学 桑原知巳

2. 細菌-宿主免疫相互作用からみた *Acinetobacter baumannii* の不思議な新規病原性

京都薬科大学微生物・感染制御学分野, 帝京大学医学部微生物学講座 鴨志田剛

3. インフルエンザ菌における β -ラクタムおよびキノロン系抗菌薬耐性に関する分子遺伝学的解析

札幌医科大学医学部微生物学講座 佐藤豊孝

4. 腸管出血性大腸菌 O157 等感染による急性脳症は Muse 細胞の静脈投与によって死亡から免れる
鳥取大学医学部医学科感染制御学講座細菌学分野 藤井 潤

シンポジウム 7 8月19日(水) 10:00~12:00 第8会場 (29F 銀河)

「地方衛生研究所との連携促進」

司会：四宮博人（愛媛県立衛生環境研究所）

大石和徳（富山県衛生研究所）

1. 富山県のレジオネラ症対策における衛生研究所の取り組みと地域連携
富山県衛生研究所細菌部 金谷潤一
2. 感染症危機管理対応における保健所等との連携～滋賀県の取り組み～
滋賀県衛生科学センター 鈴木智之
3. 臨床検体と分離株からみたバロキサビル耐性インフルエンザウイルスの解析
東京都健康安全研究センター微生物部 長島真美
4. 地方衛生研究所におけるヒト及び食品由来薬剤耐性菌のモニタリング
愛媛県立衛生環境研究所 浅野由紀子
5. 国立感染症研究所の責任と関わり
国立感染症研究所細菌第二部 柴山恵吾

シンポジウム 8 8月19日(水) 15:20~17:20 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「エビデンス創出につながる臨床研究」

司会：門田淳一（大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座）

迎 寛（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野）

1. 呼吸器内科領域
大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作
2. 泌尿器科感染症領域
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡
3. 外科感染症領域
兵庫医科大学感染制御学 竹末芳生
4. 深在性真菌感染症領域における臨床研究の実践と課題
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野, 長崎大学病院感染制御教育センター 泉川公一
5. 肺炎球菌ワクチン研究とエビデンス
NTT 東日本伊豆病院 川上健司

シンポジウム 9 8月19日(水) 15:20~17:20 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「Top10 Paper セッション」

司会：本田 仁（東京都立多摩総合医療センター感染症科）

早川佳代子（国立国際医療研究センター病院国際感染症センター）

1. 我々はまだ「かぜ」を知らない
国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンター, University of Antwerp 都築慎也
2. “病態” 次の研究テーマは？古くて新しいエンテロウイルス感染症
新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 相澤悠太
3. 感染症診療における遺伝子検査の新しい展開
埼玉医科大学感染症科・感染制御科, 埼玉医科大学臨床感染症センター 樽本憲人
4. 重症呼吸器感染症の治療と予後
北海道大学病院内科 I 長岡健太郎

シンポジウム 10 8月19日(水) 15:20~17:20 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「MRSA 感染症 up to date」

司会：山口哲央（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

1. 変貌する MRSA の疫学
聖路加国際病院臨床検査科, 聖路加国際病院内科感染症科, 順天堂大学医学部微生物学 上原由紀
2. 最近の MRSA 感染症の特徴
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 山口哲央
3. MRSA 病原因子と宿主応答
インターパーク倉持呼吸器ペインクリニック内科, 東京医科歯科大学医学部統合呼吸器病学 園田史朗

4. MRSA の病原性制御機構 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 垣内 力
 5. ゲノムから見た日本で分離された MRSA の変遷
 国立感染症研究所薬剤耐性研究センター, 広島大学大学院医系科学研究科薬剤耐性学,
 広島大学院内感染症プロジェクト研究センター 久恒順三

シンポジウム 11 8月19日(水) 15:20~17:20 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)

(共催:富士フイルム富山化学株式会社)

「これからの抗菌化学療法について考える」

司会:河野 茂(長崎大学)

1. AMR 時代における Diagnostic Stewardship 愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋廣繁
 2. AMR 時代における抗菌薬の適正使用を考える
 東北文化学園大学医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰

シンポジウム 12 8月19日(水) 15:20~17:20 第5会場 (B1F シャトレ)

(緑膿菌感染症研究会連携企画)

「緑膿菌に学び、緑膿菌を操る」

司会:金子幸弘(大阪市立大学大学院医学研究科細菌学/大阪市立大学大学院医学
 研究科感染症科学研究センター)

泉福英信(国立感染症研究所細菌第一部)

1. 日和見感染菌で見出されたプログラムされたゲノムの進化
 国立研究開発法人産業技術総合研究所 間世田英明
 2. タイプ III 毒素分泌機構 京都府立医科大学麻酔科学教室 佐和貞治
 3. 皮膚創傷治癒の免疫機構と緑膿菌感染とのクロストーク
 東北大学大学院医学系研究科看護アセスメント学分野 菅野恵美
 4. 緑膿菌トランスロケーションからの学び:分子メカニズムの解析と制御法の探索
 京都薬科大学・微生物・感染制御学分野 林 直樹
 5. 緑膿菌の鉄獲得系を利用する選択的な光増感剤輸送と光殺菌
 名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻, JST CREST 荘司長三

シンポジウム 13 8月19日(水) 15:20~17:20 第6会場 (B1F エトワール)

「地方から始める特色を生かした感染対策」

司会:宮崎博章(一般財団法人平成紫川会小倉記念病院)

嵯峨知生(秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学/秋田大学医
 学部附属病院感染制御部)

1. リケッチア症・・・ダニに県境があるのなら 岡山済生会総合病院内科(肝臓病センター) 川上万里
 2. 鹿児島感染制御ネットワークの取り組み
 鹿児島大学病院感染制御部, 鹿児島感染制御ネットワーク 川村英樹
 3. J-SIPHE (Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology) を活用した感染制御
 ネットワークの取り組み
 北海道大学病院感染制御部 石黒信久
 4. 大分県における感染症の現状と対策 大分大学医学部医療安全管理医学講座 平松和史
 5. 地域社会のための感染防止対策 栃木地域感染制御コンソーティアム TRICK 活動報告
 自治医科大学附属病院感染制御部, 栃木地域感染制御コンソーティアム 森澤雄司

シンポジウム 14 8月19日(水) 15:20~17:20 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

「感染症医に知っておいてほしい HIV の基礎知識」

司会：岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

吉田正樹（東京慈恵会医科大学附属病院感染症科）

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|------|
| 1. 疫学における最近の動向 | 国立感染症研究所エイズ研究センター | 松岡佐織 |
| 2. HIV 検査：世界との対比 | 千葉大学医学部附属病院感染症内科 | 谷口俊文 |
| 3. HIV 感染症予防と性感染症予防 | 国立国際医療研究センター | 水島大輔 |
| 4. HIV 患者で見られる日和見疾患の最近の動向 | 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター | 照屋勝治 |
| 5. 抗 HIV 療法の基本 | 横浜市立市民病院感染症内科 | 立川夏夫 |

シンポジウム 15 8月19日(水) 15:20~17:20 第8会場 (29F 銀河)

「FN の病態と新しい予防・治療戦略」

司会：藤田浩之（済生会横浜市南部病院血液内科）

原田壮平（東京大学医学部附属病院感染制御部）

- | | | |
|--|---|---------|
| 1. 発熱性好中球減少症 (FN) の疫学と予防, 初期対応 | 横浜市立大学附属病院感染制御部, 横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科 | 加藤英明 |
| 2. 血液悪性腫瘍患者における FN (febrile neutropenia) のマネジメント | 聖路加国際病院血液内科 | 森慎一郎 |
| 3. FN の予防と外来治療 | がん研有明病院 | 羽山ブライアン |
| 4. 好中球減少時の抗菌薬適正使用のエビデンス | 国立がん研究センター東病院総合内科, 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科 | 冲中敬二 |
| 5. 好中球減少患者のコンサルテーションと抗菌薬適正使用支援の進め方 | 静岡県立静岡がんセンター | 倉井華子 |
- 特別コメント：吉田 稔（帝京大学医学部附属溝口病院第4内科）

シンポジウム 16 8月20日(木) 8:00~9:30 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「キードラッグの抗菌薬の安定供給を考える—セファゾリン事例の反省を通して—」

司会：平井敬二（杏林製薬株式会社）

松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座）

- | | | |
|--|----------------------|-------|
| 1. セファゾリンナトリウム注射用「日医工」の安定供給再開までの経過のご報告 | 日医工株式会社信頼性保証本部 | 島崎 博 |
| 2. ペニシリン供給企業として | Meiji Seika ファルマ株式会社 | 高橋義三郎 |
| 3. 医療従事者の立場から | 中浜医院 | 中浜 力 |

シンポジウム 17 8月20日(木) 8:00~9:30 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「ハイインパクトペーパーシンポジウム」

司会：三嶋廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学）

青柳哲史（東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野）

- | | | |
|------------------------------------|------------------------------|------|
| 1. 呼吸器感染症の病態解明に向けた基礎研究からのアプローチ | 慶應義塾大学医学部呼吸器内科 | 石井 誠 |
| 2. 肺常在性記憶型 T 細胞による高病原性クリプトコックス症の制御 | 国立感染症研究所真菌部 | 上野圭吾 |
| 3. 呼吸器ウイルス感染症～ヒトメタニューモウイルスを中心に～ | 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 | 金城武士 |
| 4. 肺炎の予防と治療～地域医療からのエビデンス創出～ | 国立病院機構三重病院 | 丸山貴也 |

シンポジウム 18 8月20日(木) 8:00~9:30 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「重症・難治性 *Clostridioides difficile* 感染症—症例検討からの考察—」

司会：國島広之（聖マリアンナ医科大学感染症学講座）

加藤はる（国立感染症研究所細菌第二部）

1. 人工血管感染による長期抗菌薬使用のため再燃を繰り返した *Clostridioides difficile* 感染症症例
兵庫医科大学感染制御部 中嶋一彦
2. 外科手術を必要とした *Clostridioides difficile* 感染症症例について
国立病院機構京都医療センター外科・感染制御部 畑 啓昭
3. HIV 感染症等重症免疫不全患者における CDI 症例からの考察 産業医科大学病院感染制御部 鈴木克典
4. 重症・難治化防止のために出来ること 昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 詫間隆博

シンポジウム 19 8月20日(木) 8:00~9:30 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

「インフルエンザ Up-to-Date」

司会：石田 直（倉敷中央病院呼吸器内科）

青島正大（亀田総合病院呼吸器内科）

1. 世界の疫学 国立病院機構三重病院臨床研究部 谷口清州
 2. 病態・重症化に関する最近の知見 東北医科薬科大学医学部感染症学教室 関 雅文
 3. ワクチンをめぐる課題・問題 国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター 長谷川秀樹
 4. これからのインフルエンザ診断と治療 国立がん研究センター中央病院 小林 治
- 特別コメント：菅谷憲夫（けいゆう病院小児科）

シンポジウム 20 8月20日(木) 8:00~9:30 第5会場 (B1F シャトトレ)

(日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師制度)

「症例から学ぶ ASP セミナー—本症例の疑問点と次に繋げる考察—」

司会：高山和郎（東京大学医学部附属病院薬剤部）

前田真之（昭和大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門）

コメンテーター：植田貴史（兵庫医科大学病院感染制御部）

井口光孝（名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部）

1. 症例 1 薬剤師の ASP 活動：コモンな疾患の AS からトラブルシューティングまで
東京ベイ・浦安市川医療センター 栢 秀樹
2. 症例 2 医師の ASP 活動：病態把握から薬剤師との連携まで
愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学, 愛媛大学医学部附属病院感染制御部 末盛浩一郎

シンポジウム 21 8月20日(木) 8:00~9:30 第6会場 (B1F エトワール)

「肺炎球菌ワクチン戦略を考える—多糖体ワクチンと蛋白結合型ワクチンの特徴と使い分け—」

司会：矢寺和博（産業医科大学医学部呼吸器内科学）

伊藤功朗（京都大学大学院医学研究科・呼吸器内科学）

1. 多糖体ワクチン 国立病院機構東京病院 永井英明
2. 蛋白結合型ワクチン 川崎医科大学小児科学 中野貴司
3. 次世代肺炎球菌ワクチン
東京慈恵会医科大学細菌学講座, 東京慈恵会医科大学バイオフィルム研究センター 金城雄樹
4. 肺炎球菌ワクチン戦略を考える—医療経済の観点から— 明治薬科大学 赤沢 学

シンポジウム 22 8月20日(木) 8:00~9:30 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(共催:アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社/旭化成ファーマ株式会社)

「レジオネラ・シンポジウム—第10回国際レジオネラ学会(2021)に向けて—」

司会:倉 文明(国立感染症研究所バイオセーフティ管理室)

宮良高維(神戸大学医学部附属病院感染制御部)

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------|------|
| 1. レジオネラ症の疫学 | 国立感染症研究所細菌第一部 | 前川純子 |
| 2. レジオネラ症の臨床的特徴 | 国立病院機構沖縄病院 | 比嘉 太 |
| 3. レジオネラエフェクターの細胞内機能 | 岐阜大学医学系研究科 | 久堀智子 |
| 4. 宿主応答から考えるレジオネラ症 | 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 | 梶原千晶 |
| 5. 南極環境に生息する <i>Legionella</i> 属菌 | | |

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科統合呼吸器病学分野,

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 島田 翔

特別コメント:齊藤 厚(サン・レモリハピリ病院)

シンポジウム 23 8月20日(木) 8:00~9:30 第8会場 (29F 銀河)

「性感染症領域の今日の問題と今後の展望 “なぜ今、これからどうなる?”」

司会:清田 浩(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科)

市原浩司(札幌中央病院泌尿器科)

- | | | |
|-------------------------------------|--|------|
| 1. 梅毒 | 国立感染症研究所 | 大西 真 |
| 2. 淋菌 | 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター, 岐阜大学微生物遺伝資源保存センター | 安田 満 |
| 3. クラミジア・トラコマティスの今日の問題と今後の展望 | 札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 | 高橋 聡 |
| 4. <i>Mycoplasma genitalium</i> 感染症 | 国家公務員共済組合連合会新小倉病院 | 濱砂良一 |

シンポジウム 24 8月20日(木) 10:20~12:00 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「重症熱性血小板減少症候群(SFTS) —明らかになった事実, 残された疑問—」

司会:安川正貴(愛媛大学プロテオサイエンスセンター)

西條政幸(国立感染症研究所)

- | | | |
|---------------------------------------|---------------------|-------|
| 1. イントロダクション (SFTSの現状) | 国立感染症研究所ウイルス第一部 | 西條政幸 |
| 2. SFTSの臨床症状と診断 | 山口県立総合医療センター血液内科 | 高橋 徹 |
| 3. SFTSの病態:マダニ以外の感染経路 | 国立感染症研究所獣医学部 | 前田 健 |
| 4. SFTSの治療~医師主導臨床試験から見てきたファビピラビルの有用性~ | 愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学 | 末盛浩一郎 |

シンポジウム 25 8月20日(木) 10:20~12:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「*Clostridioides difficile* 感染症における新知見」

司会:中村 敦(名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学)

稲松孝思(東京都健康長寿医療センター)

- | | | |
|---|--------------------------------|------|
| 1. <i>Clostridioides difficile</i> 感染症における新知見 | 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 | 中村 敦 |
| 2. エクオールは <i>Clostridioides difficile</i> の成長と芽胞形成を阻害する | 東邦大学医学部微生物・感染症学講座, 大塚製薬株式会社薬事部 | 田中裕美 |
| 3. 醤油成分の抗CDI効果 | 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部 | 石井利明 |
| 4. <i>Clostridioides difficile</i> 感染症に対するDNAワクチンの開発 | 国立感染症研究所細菌第二部 | 妹尾充敏 |

シンポジウム 26 8月20日(木) 10:20~12:00 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)

「インフルエンザと肺炎球菌感染症—なぜ重症化するのか、どうやって防ぐか—」

司会：木村聡一郎（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

金子 猛（公立大学法人横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学）

1. インフルエンザと肺炎球菌肺炎—実臨床における TIPS と問題点—
横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学 渡邊弘樹
2. インフルエンザ後の二次性肺炎球菌性肺炎の発症・重症化のメカニズム
東京医科大学微生物学分野 中村茂樹
3. インフルエンザ後の二次性肺炎球菌感染症に対する肺炎球菌ワクチン予防効果
埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科・感染症科 三村一行
4. 肺炎球菌蛋白ワクチンによるインフルエンザ続発性肺炎球菌感染防御
東京慈恵会医科大学細菌学, 東京慈恵会医科大学バイオフィルム研究センター 金城雄樹

シンポジウム 27 8月20日(木) 10:20~12:00 第5会場 (B1F シャトトレ)

「エキスパートに聞きたい—こんな症例どう治療する?—」

司会：矢野晴美（国際医療福祉大学医学教育統括センター・感染症学）

中村 造（東京医科大学病院感染制御部）

1. MSSA による中枢神経系感染症
帝京大学医学部附属病院感染制御部 松永直久
2. *Helicobacter cinaedi* による血流感染症
虎の門病院臨床感染症科 荒岡秀樹
3. AmpC 過剰産生の可能性のある *Enterobacter* 属菌による血流感染症
健和会大手町病院, KRICT（北九州感染制御チーム） 山口征啓
4. メタロ β-ラクタマーゼ産生腸内細菌科細菌による血流感染症
佐賀大学医学部附属病院感染制御部 濱田洋平

シンポジウム 28 8月20日(木) 10:20~12:00 第6会場 (B1F エトワール)

「ワクチン・シンポジウム—誰に、何を、いつ、その効果は?—」

司会：西順一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野）

宮入 烈（国立成育医療研究センター生体防御系内科部感染症科）

1. 帯状疱疹ワクチン
奈良県立医科大学皮膚科 浅田秀夫
2. 思春期男女に HPV ワクチンを定期接種すべき—既に 20 歳代女子 CIN3 発生が 9 割減少—接種継続は頸がん発生を 1 割にする
自治医科大学さいたま医療センター 今野 良
3. 百日咳含有ワクチン
福岡看護大学基礎・基礎看護部門, 福岡歯科大学医歯学総合病院予防接種センター 岡田賢司
4. 髄膜炎菌ワクチン
国立感染症研究所感染症疫学センター 神谷 元

シンポジウム 29 8月20日(木) 10:20~12:00 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

「漢方薬シンポジウム—サイエンスから考える感染症への応用—」

司会：巽浩一郎（千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学）

斧 康雄（帝京大学大学院医学研究科感染免疫病態制御学）

1. 感染症の炎症に対する漢方薬の影響—実臨床例を通じて—
熊本赤十字病院 加島雅之
2. 漢方, 感染症と臨床のエビデンス
神戸大学大学院医学研究科 岩田健太郎
3. 漢方薬がもたらす宿主免疫への効果—基礎研究から探る—
北海道大学病院内科 I 中久保祥
4. ヒト好中球機能に及ぼす補中益気湯の効果
帝京大学医学部微生物学講座 斧 康雄

シンポジウム 30 8月20日(木) 10:20~12:00 第8会場(29F 銀河)

「尿路性器感染症 POCT “外来で求められる迅速検査”」

司会：吉田 敦（東京女子医科大学感染症科）

大塚喜人（亀田総合病院臨床検査部）

1. 尿路感染症領域の POCT と課題 岡山大学病院泌尿器科, 東京女子医科大学病院泌尿器科 和田耕一郎
2. 性感染症における問題点 札幌医科大学医学部泌尿器科学講座 桧山佳樹
3. 尿路性器感染症 POCT “外来で求められる迅速検査”

筑波メディカルセンター病院感染症内科・臨床検査医学科 鈴木広道

特別コメント：荒川創一（三田市民病院）

シンポジウム 31 8月20日(木) 16:10~18:10 第3会場(B1F パレロワイヤル C)

(日本感染症学会臨床研究推進委員会企画)

「あなたの日常診療を科学にしよう Accepted Paper Session—臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する—」

司会：川上和義（東北大学大学院医学系研究科感染分子病態解析学分野）

宮崎義継（国立感染症研究所真菌部）

1. それは1本の症例報告から始まった 国家公務員共済組合連合会虎の門病院臨床感染症科 木村宗芳
2. 単施設, 後向きコホート研究の実際—論文化のポイントを共有する—
国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際感染症センター 石金正裕
3. 臨床から論文へ, そして「ガイドラインに残る仕事」へ: Plan-Do-Check-Act (PDCA) 好循環を
下関市立市民病院呼吸器外科・感染管理委員会 吉田順一
4. クリニカルクエスチョンから臨床研究・論文化へ
愛知医科大学病院感染症科, 愛知医科大学病院感染制御部 浅井信博
5. 基礎研究・臨床研究の融合による, 臨床の疑問に立脚した研究推進 国立感染症研究所真菌部 阿部雅広

シンポジウム 32 8月20日(木) 16:10~18:10 第4会場(B1F パレロワイヤル D)

「感染症のコントラバシーと求められるエビデンス」

司会：林 淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科）

堀野哲也（東京慈恵会医科大学感染制御科）

1. 長期治療が必要な感染症, 内服への変更は可能か? 埼玉医科大学総合医療センター 金澤晶雄
2. ESBLs はセファマイシンで治療可能か?
琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科 西山直哉
3. MRSA に RFP などの併用は必要か? 東京慈恵会医科大学感染制御科 堀野哲也
4. 外来の第3経口セフェムは不要か? 中浜医院 中浜 力

シンポジウム 33 8月20日(木) 16:10~18:10 第5会場(B1F シャトトレ)

「第29回症例から学ぶ感染症セミナー」

司会：中村茂樹（東京医科大学微生物学分野）

千酌浩樹（鳥取大学医学部附属病院感染制御部）

1. 症例1 症例提示 東京医科大学病院感染制御部 中村 造
解説 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 山口哲央
2. 症例2 症例提示 鳥取大学医学部附属病院感染症内科 岡田健作
解説 国立感染症研究所 岩城正昭

シンポジウム 34 8月20日(木) 16:10~18:10 第6会場 (B1F エトワール)

「感染制御活動におけるリーダーシップと今後の展望」

司会：八木哲也（名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学分野）

北原隆志（山口大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座）

1. 病院感染対策において薬剤師が発揮すべきリーダーシップ 長崎大学病院薬剤部 中川博雄
2. 抗菌薬サーベイランス 佐賀大学医学部附属病院感染制御部, 国公立大学附属病院感染対策協議会 浦上宗治
3. AMR 対策における薬剤師のリーダーシップ 琉球大学医学部附属病院薬剤部, 琉球大学医学部附属病院感染対策室 潮平英郎
4. 災害医療における感染制御～中規模市中病院の立場から～ 坂総合病院 高橋 洋

シンポジウム 35 8月20日(木) 16:10~18:10 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

「マイクロバイオームとシン・プロバイオティクス—メカニズムから臨床応用を考える—」

司会：森永芳智（富山大学学術研究部医学系微生物学講座）

高橋志達（ミヤリサン製薬株式会社事業戦略部/東京研究部）

1. 疾患とマイクロバイオーム 東邦大学医学部微生物感染症学講座 福井悠人
2. 重症患者の腸内細菌叢とシンバイオティクスの有用性 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 清水健太郎
3. *Lactococcus lactis* strain Plasma によるウイルス感染症予防の可能性 キリンホールディングス(株) 藤原大介
4. 腸管感染症に対するプロバイオティクスの可能性 ミヤリサン製薬株式会社事業戦略部 林 篤史

シンポジウム 36 8月20日(木) 16:10~18:10 第8会場 (29F 銀河)

「前立腺針生検の感染性合併症における原因微生物の種類・頻度と耐性化の問題」

司会：山本新吾（兵庫医科大学泌尿器科）

松川雅則（滝川市立病院泌尿器科）

1. 前立腺針生検の感染性合併症における原因微生物の種類・頻度と耐性化の問題 鹿児島大学病院血液浄化療法部 速見浩士
2. 生検後の有熱性合併症への基本的対応 北海道立子ども総合医療療育センター小児泌尿器科 上原央久
3. 感染予防抗菌薬投与プロトコールと今後の課題 神戸大学泌尿器科 重村克巳

シンポジウム 37 8月21日(金) 8:00~9:30 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「創薬促進—世界の動向, 日本の戦略—」

司会：土井洋平（藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科）

宮川昭二（日本医療研究開発機構戦略推進部）

1. 創薬の世界的動向 塩野義製薬・医薬研究本部 山野佳則
2. AMR 創薬促進につながる新しいビジネスモデルの構築—Pull 型インセンティブを含めて— 日本製薬工業協会国際委員会グローバルヘルス部会 有吉祐亮
3. 国内 Push 型インセンティブ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬戦略部 (iD3) 創薬企画・評価課東日本統括グループ 藤江昭彦
4. 国内 Push 型インセンティブと創薬の難しさ 学校法人北里研究所北里大学感染制御研究センター 花木秀明

シンポジウム 38 8月21日(金) 8:00~9:30 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「AMR Alliance Japan シンポジウム “今、私たちに求められる行動”」

司会：清田 浩（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科）

乗竹亮治（日本医療政策機構）

1. AMR 対策の推進に向け、「AMR アライアンス・ジャパン」が果たす役割と展望
日本医療政策機構 乗竹亮治
2. 薬剤耐性（AMR）対策に関する日本製薬工業協会の取り組み
日本製薬工業協会 俵木保典
3. 企業の立場から
塩野義製薬株式会社 澤田拓子
4. AMR：医療現場の対応
兵庫県赤十字血液センター 平井みどり

シンポジウム 39 8月21日(金) 8:00~9:30 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「多剤耐性菌感染症—世界の動向，日本の疫学—」

司会：渡邊 浩（久留米大学医学部感染制御学講座）

森屋恭爾（東京大学医学部感染制御学）

1. 多剤耐性菌感染症—世界の動向—
順天堂大学大学院医学研究科微生物学 切替照雄
2. JANIS データからみる日本の疫学
国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 川上小夜子
3. 多剤耐性菌の広がりに対する地域病院の現状
4. 多剤耐性アシネトバクターの院内感染事例を経験して—過去 10 年間の進歩と今後の課題—
福岡大学病院感染制御部 高田 徹
国立感染症研究所細菌第二部 柴山恵吾
5. 行政の立場から

シンポジウム 40 8月21日(金) 8:00~9:30 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

「劇症型 A 群レンサ球菌感染症の謎に迫る」

司会：阿戸 学（国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部）

吉澤定子（東邦大学医学部微生物・感染症学講座/東邦大学医学部臨床研究支援センター）

1. GAS 症例から考察する病態劇症化の機序
慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一
2. 劇症型 A 群溶血性レンサ球菌感染症由来株の細菌学的特徴
国立感染症研究所細菌第一部 池辺忠義
3. 宿主サイトカイン応答からの考察
東邦大学医学部微生物・感染症学講座，東邦大学医学部臨床研究支援センター 吉澤定子
4. 劇症化病態の解明に向けて
国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部 阿戸 学

シンポジウム 41 8月21日(金) 8:00~9:30 第5会場 (B1F シャトレ)

（日本医師会，日本プライマリ・ケア連合学会連携企画）

「徹底討論：上気道感染症に対する抗菌薬の使い方—開業医の立場から，専門医の立場から—」

総合司会：柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析診断学分野）

保富宗城（和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科）

1. 開業医・日本医師会の立場から
公益社団法人日本医師会 釜菴 敏
2. プライマリケア医の立場から
大阪医科大学地域総合医療科学 鈴木富雄
3. 耳鼻咽喉科領域を中心に
旭川医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 林 達哉
4. 内科感染症専門医の立場から
大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作

シンポジウム 42 8月21日(金) 8:00~9:30 第6会場 (B1F エトワール)

(日病薬の感染制御専門領域認定講習会)

「ASP活動に必要な知識・経験と覚悟」

司会：石川清仁（藤田医科大学病院医療の質・安全対策部感染対策室）

吉田真紀子（東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野）

1. 医師として必要な知識・経験と覚悟～NICUにおけるASPの実践～

名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部 手塚宜行

2. 薬剤師として必要な知識・経験と覚悟～大学病院でのASPの実践～

兵庫医科大学病院薬剤部 高橋佳子

3. 入院患者に対するASPの実践～Weekend Effectを意識して～

大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学講座，大阪市立大学医学部附属病院感染制御部，

大阪市立大学医学部附属病院感染症内科 山田康一

4. 外来患者に対するASPの実践～経口抗菌薬（セフェム，キノロン，マクロライド）適正化の経験～

一般財団法人住友病院感染制御部 林三千雄

シンポジウム 43 8月21日(金) 8:00~9:30 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(日本結核・非結核性抗酸菌症学会共同企画)

「NTMシンポジウムI—疫学と発症病態 なぜ慢性化するのか—」

司会：長谷川直樹（慶應義塾大学病院感染制御部）

猪狩英俊（千葉大学医学部附属病院感染制御部）

1. 肺NTM症の最近の動向

公益財団法人結核予防会複十字病院臨床医学研究科 森本耕三

2. 肺NTMの臨床的問題点

独立行政法人国立病院機構東京病院 佐々木結花

3. 迅速発育型抗酸菌の疫学と遺伝子解析

北海道大学病院内科I（呼吸器内科学分野），東京女子医科大学感染症科 鎌田啓佑

4. 慢性化メカニズムの宿主要因

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 梶原千晶

シンポジウム 44 8月21日(金) 8:00~9:30 第8会場 (29F 銀河)

「外来・在宅での適正な注射用抗菌薬使用」

司会：具 芳明（国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター）

細川直登（亀田総合病院感染症科）

1. 外来で使用されている注射用抗菌薬の現状

国立国際医療研究センター，国際感染症センター，AMR 臨床リファレンスセンター 日馬由貴

2. 外来における注射用抗菌薬の使い方とOPAT

日本赤十字社成田赤十字病院感染症科，亀田総合病院感染症科 馳 亮太

3. 在宅医療における注射用抗菌薬の選択

沖縄県立中部病院感染症内科，日本医師会総合政策研究機構 高山義浩

シンポジウム 45 8月21日(金) 10:20~12:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)

「Hollow-Fiber Infection Model (HFIM)：創薬促進を加速する新技術」

司会：石井良和（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

松元一明（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

1. ヒトPKを忠実に再現する東邦大学版HFIMの新薬開発に向けた活用方法

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 濱田将風

2. HFIMを新薬開発に活かすために

Meiji Seika ファルマ株式会社 板橋孝壽

3. *In vitro* シミュレーション：chemostat modelの創薬への応用—ラスクフロキサシンを例として—

杏林製薬株式会社わたらせ創薬センター 山口優子

シンポジウム 46 8月21日(金) 10:20~12:00 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「ファージ・シンポジウム—忘れられていた治療法の復活—」

司会：松崎茂展（高知大学医学部眼科学教室）

岩野英知（酪農学園大学獣医学類獣医生化学ユニット）

1. 薬剤耐性菌に対するファージセラピーの概説 麻布大学獣医学部 内山淳平
2. ファージセラピーの実用化に向けて 酪農学園大学獣医学類獣医生化学ユニット 岩野英知
3. 次世代バクテリオファージセラピー 岐阜大学大学院医学系研究科病原制御学分野 安藤弘樹
4. 狙った細菌を選択的に殺菌する殺菌キメラファージの開発
自治医科大学医学部感染・免疫学講座 崔 龍洙
5. ファージによる環境レジオネラ属菌制御に向けた取り組み
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 青木弘太郎

シンポジウム 47 8月21日(金) 10:20~12:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「プラスミド性コリスチン耐性菌はヒトの健康に対するハザードか？」

司会：荒川宜親（名古屋大学大学院医学研究科）

田村 豊（酪農学園大学動物薬教育研究センター）

1. 家畜・食肉・ヒトにおけるコリスチン耐性菌の分離状況 岐阜大学大学院連合獣医学研究科 浅井鉄夫
2. *mcr* 保有プラスミドが大腸菌の性状に及ぼす影響とゲノム解析
酪農学園大学獣医学群獣医学類 白井 優
3. コリスチン耐性菌の定着性と治療効果に及ぼす影響 札幌医科大学医学部微生物学講座 佐藤豊孝
4. 世界の視点で考えるコリスチン耐性 群馬大学大学院医学系研究科細菌学 富田治芳

シンポジウム 48 8月21日(金) 10:20~12:00 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

(日本救急医学会連携企画)

「感染症 Emergency—症例報告を通して—」

司会：志馬伸朗（広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学）

佐々木淳一（慶應義塾大学医学部救急医学）

1. 救急医と感染症医とのコラボレーション：ともに診療した難治性緑膿菌感染症
東北大学大学院医学系研究科救急医学分野，東北大学病院救急科 工藤大介
2. 病院前救急診療と救急外来部門における感染対策の実際～この症例が結核だったら？～
川崎医科大学救急医学 椎野泰和
3. 感染源特定困難な重症症例の初期診療：救えなかった一例から学ぶ
薬師寺慈恵病院，岡山大学病院高度救命救急センター 薬師寺泰匡
4. ARDS 患者における原疾患診断と初期治療—探求する心を誇りにして—
広島大学大学院救急集中治療医学 京 道人

シンポジウム 49 8月21日(金) 10:20~12:00 第5会場 (B1F シャトレ)

(日本感染症学会男女共同参画推進委員会企画)

「活躍する女性感染症医—次世代へのメッセージ—」

司会：駒瀬裕子（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科）

笠原 敬（奈良県立医科大学感染症センター）

1. ボストン研究留学への挑戦がもたらしたこと。女性が医療界で活躍するために 長崎大学病院 山本和子
2. 消化器外科医から感染症医へ—外科系学会との違い— 防衛医科大学校医療安全・感染対策部 小林美奈子
3. 感染症医としての生き方—診療から基礎研究，そして臨床研究・治験へ—
東邦大学医学部臨床研究支援センター，東邦大学医学部微生物・感染症学講座，
東邦大学医療センター大森病院治験・臨床研究管理部 吉澤定子

4. 旧伝染病の時代から感染症の時代を生きて

元横浜市立市民病院 相楽裕子

シンポジウム 50 8月21日(金) 10:20~12:00 第6会場 (B1F エトワール)

「30分の壁」を破る次世代感染症診断法」

司会：矢野寿一（奈良県立医科大学微生物感染症学講座）

長沢光章（国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科）

1. 革新的技術 Review 東京医科大学微生物学分野 大楠清文
2. 遺伝子診断法 奈良県立医科大学微生物感染症学講座 矢野寿一
3. クロマトグラフィー法 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科 伊藤明広
4. フローサイトメトリー法によるマラリア診断の可能性

国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部 狩野繁之

シンポジウム 51 8月21日(金) 10:20~12:00 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(日本結核・非結核性抗酸菌症学会共同企画)

「NTM シンポジウム II—治療：効果的な治療を目指して—」

司会：藤田昌樹（福岡大学医学部呼吸器内科学）

菊地利明（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野）

1. 肺非結核性抗酸菌症（肺 NTM 症）に対する抗菌薬療法の実際 仙台赤十字病院呼吸器内科 三木 誠
2. クラリスロマイシンに対する heterogeneity
順天堂大学医学部附属浦安病院呼吸器内科，東邦大学医学部微生物・感染症学講座 南條友央太
3. 肺 NTM 症に対する代替/併用療法の可能性 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 塩沢綾子
4. 非結核性抗酸菌症治療における AST 活動の意義と課題

長野県立信州医療センター感染症センター 山崎善隆

シンポジウム 52 8月21日(金) 10:20~12:00 第8会場 (29F 銀河)

(日本透析医学会連携企画)

「透析患者における感染症の特徴と対策」

司会：川崎 聡（信楽園病院呼吸器内科）

安藤亮一（清湘会記念病院）

1. 透析患者における感染症の現況とその要因 東京都済生会中央病院腎臓内科 吉藤 歩/竜崎崇和
2. バスキュラーアクセス関連感染サーベイランスからみえてくる血流感染の実態
山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部，透析関連感染サーベイランス研究会 森兼啓太
3. 呼吸器感染症の実態と対策 名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 進藤有一郎
4. 透析 vs 腎移植～感染症の視点から～

静岡県立総合病院臨床検査科，静岡県立総合病院腎臓内科 伊藤健太

シンポジウム 53 8月21日(金) 15:00~16:50 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)

「木も見て，森も見る～経口抗菌薬の特性を生かす Antimicrobial Stewardship～」

司会：本郷偉元（関東労災病院感染症内科）

西 圭史（杏林大学医学部付属病院医療安全管理部感染対策室）

1. セファロsporin系薬への支援 武蔵野赤十字病院薬剤部，武蔵野赤十字病院感染管理室 加藤智之
2. ニューキノロン系薬への支援 慶應義塾大学病院感染制御部 池谷 修
3. 歯科領域における支援

東京医科歯科大学歯学部附属病院薬剤部，東京医科歯科大学歯学部附属病院 AST 沖里里恵

4. 保険薬局における支援～市中が病棟という視点～ 薬樹株式会社在宅グループ 坪内理恵子

シンポジウム 54 8月21日(金) 15:00~16:50 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)

「Diagnostic Stewardship で求められる臨床微生物学的知識と経験」

司会：菅野治重（鹿島病院感染症診療支援センター）

満田年宏（東京女子医科大学感染制御科/東京女子医科大学病院
総合感染症・感染制御部）

1. 効率的な感染症診療の進め方 鹿島病院感染症診療支援センター 菅野治重
2. 臨床微生物検査技師の立場からみた Diagnostic Stewardship 業務 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部 佐々木雅一
3. 院内感染対策の視点から考える Diagnostic Stewardship 大分大学医学部医療安全管理医学講座 平松和史
4. 微生物検査室と多職種が協働した感染症の診断支援 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部 長南正佳

シンポジウム 55 8月21日(金) 15:00~16:50 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)

「理論と実践で繋ぐ感染対策—文化として育み、サイエンスに高める—」

司会：浮村 聡（大阪医科大学附属病院）

中澤 靖（東京慈恵会医科大学附属病院感染対策部）

1. 多剤耐性菌の分離頻度の地域的特徴
—MRSA, VRE, PRSP, 第三世代セファロスポリン耐性大腸菌, フルオロキノロン耐性大腸菌—
弘前大学大学院医学科臨床検査医学講座 萱場広之
2. CPE アウトブレイクの経験—そして、いつ隔離解除するのか—
東邦大学医療センター大森病院感染管理部 宮崎泰斗
3. ノロウイルスの感染対策 獨協医科大学埼玉医療センター 本田なつ絵
4. トコジラミ—忍び寄る吸血昆虫の脅威とその対策— 信州大学医学部附属病院感染制御室 金井信一郎
特別コメント：大久保憲（医療法人平岩病院）

シンポジウム 56 8月21日(金) 15:00~16:50 第5会場 (B1F シャトレ)

「日本で、世界で活躍する感染症医—キャリアをどう積むか、活動の幅をどう広げるか—」

司会：青木洋介（佐賀大学医学部附属病院感染制御部）

山本善裕（富山大学附属病院感染症科）

1. 自衛隊医官から実地疫学専門家へ
防衛医科大学校防衛医学研究センター、広域感染症疫学・制御研究部門 加來浩器
2. Physician scientist としての感染症科医
藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科、ピッツバーグ大学医学部感染症内科 土井洋平
3. 少子高齢化人口減少・耐性菌に立ち向かう！—感染症コンサルタントの挑戦—
北海道大学社会医学分野衛生学教室, Sapporo Medical Academy, 北海道科学大学薬学部 岸田直樹
4. 行政で感染症対策に携わる 内閣官房新型インフルエンザ等対策室 野田博之

シンポジウム 57 8月21日(金) 15:00~16:50 第6会場 (B1F エトワール)

「MRSA 感染症に対する抗菌薬療法—効果的な抗菌薬の選択を目指して—」

司会：藤村 茂（東北医科薬科大学薬学部臨床感染症学教室）

小泉祐介（愛知医科大学病院感染症科）

1. “取りあえずバンコマイシン” 北里大学大学院感染制御科学府感染症学研究室 高橋 孝
2. “いえいえ、ダプトマイシン First” 愛知医科大学病院感染症科 小泉祐介
3. オキサゾリジノン First—MRSA 感染症にオキサゾリジシン系を選択するセッティングとは
神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座感染治療学分野 大路 剛
4. やっぱり併用療法でしょう 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科 小野大輔
特別コメント：二木芳人（昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門）

シンポジウム 58 8月21日(金) 15:00~16:50 第7会場 (B1F ヴァンドーム)

(日本呼吸器学会, 日本リウマチ学会連携企画)

「生物学的製剤と呼吸器感染症」

司会: 徳田 均 (JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科)

小池竜司 (東京医科歯科大学医療イノベーション推進センター・医学部附属
病院臨床試験管理センター)

1. 細菌性肺炎 名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 進藤有一郎
2. 生物学的製剤とニューモシスチス肺炎 弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学 田坂定智
3. 結核 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科 大野秀明
4. 非結核性抗酸菌症 慶應義塾大学医学部感染症学教室 長谷川直樹

シンポジウム 59 8月21日(金) 15:00~16:50 第8会場 (29F 銀河)

「糸状真菌症診断のピットフォールと新たな展開」

司会: 渡辺 哲 (千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野)

澁谷和俊 (東邦大学医学部病院病理学講座)

1. 培養法における工夫と注意点 国立感染症研究所真菌部 梅山 隆
 2. 新しい血清診断法 大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘
 3. 遺伝子診断法の現状と今後の展望
長崎大学病院呼吸器内科, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学 宮崎泰可
 4. 診断のための外科的アプローチの意義 国家公務員共済組合連合会虎の門病院臨床感染症科 木村宗芳
- 特別コメント: 山口英世 (帝京大学医真菌研究センター)

シンポジウム 60 8月21日(金) 15:00~16:50 第9会場 (29F 光)

(JaSA: 日本救急医学会・日本集中治療医学会・日本感染症学会 企画)

「三学会ジョイントシンポジウム「敗血症への対策」」

司会: 柳原克紀 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野)

中川 聡 (国立成育医療研究センター集中治療科)

1. 日本敗血症連盟 (Japan Sepsis Alliance; JaSA) の結成と活動
日本敗血症連盟, 国立成育医療研究センター集中治療科 中川 聡
2. 世界と日本における敗血症の疫学研究: sepsis registry からのメッセージ
Japan Sepsis Alliance 小倉裕司
3. 医療現場で行われている敗血症の診断と治療について
薬師寺慈恵病院, 岡山大学病院高度救命救急センター 薬師寺泰匡
4. 敗血症の早期診断・治療に活用できる検査
長崎大学病院検査部, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 太田賢治
5. 敗血症の予防 鹿児島大学病院感染制御部 川村英樹

第2回臨床研究促進助成中間報告

第2回臨床研究促進助成中間報告 8月20日(木) 10:00~10:50 第9会場(29F 光)

(日本感染症学会臨床研究推進委員会)

司会: 川上和義(東北大学大学院医学系研究科保健学専攻感染分子病態解析学分野)

「我が国に居住する南米出身者のシャーガス病罹患状況調査と、診療支援体制の構築」

埼玉医科大学感染症科・感染制御科, 埼玉医科大学臨床感染症センター 今井一男

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告 8月20日(木) 11:00~12:00 第9会場(29F 光)

司会: 松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

1. 第7回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業委員会報告—耳鼻咽喉科領域—

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会耳鼻咽喉科領域担当 矢野寿一

(奈良県立医科大学微生物感染症学講座)

2. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告 2017年小児科領域感染症

松本哲哉

(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

教育セミナー

教育セミナー 8月20日(木) 16:10~17:40 第9会場(29F 光)

(共催:ファイザー株式会社/MSD株式会社)

座長:松本哲哉(国際医療福祉大学感染症学講座)

「臓器・体腔 SSI management」

1. Surgical Site Infection 対策 up to date 防衛医科大学校医療安全・感染対策部 小林美奈子
 2. 腹腔内感染症—臓器/体腔 SSI の治療戦略— 東邦大学医療センター大橋病院外科 渡邊 学
 3. 腹腔内感染症における重症度別の抗菌薬選択と治療期間 兵庫医科大学感染制御学 竹末芳生
-

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 8月19日(水) 12:10~13:00 第1会場 (B1F パレロワイヤルA)
(共催: 武田薬品工業株式会社)

LIVE 配信のみ (無観客開催)

座長: 森島恒雄 (愛知医科大学/岡山大学)

「ワクチンによる水痘・帯状疱疹予防: その効果と課題」 藤田医科大学医学部小児科学 吉川哲史

ランチョンセミナー 2 8月19日(水) 12:10~13:00 第2会場 (B1F パレロワイヤルB)
(共催: ファイザー株式会社)

座長: 迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科))

「肺炎球菌感染症の疫学と肺炎球菌ワクチン接種の実際」

1. 分子疫学解析からみた肺炎球菌ワクチン導入効果と今後の課題

慶應義塾大学医学部総合診療教育センター, 東京医科大学微生物分野 生方公子

2. 高齢者肺炎予防と肺炎球菌ワクチン接種の実際 長野県立信州医療センター感染症センター 山崎善隆

ランチョンセミナー 3 8月19日(水) 12:10~13:00 第3会場 (B1F パレロワイヤルC)
(共催: 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社)

座長: 石井良和 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

「グローバル時代の感染症対策」 国立国際医療研究センター国際感染症センター 忽那賢志

ランチョンセミナー 4 8月19日(水) 12:10~13:00 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)
(共催: MSD 株式会社)

座長: 河合 伸 (杏林大学医学部付属病院感染症科)

「肺炎球菌感染症の最新の話」

1. 肺炎球菌感染症の最新の話—疫学の観点から—

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野(臨床検査医学) 長崎大学病院検査部 柳原克紀

2. 23価肺炎球菌ワクチン(PPSV23)の最新の話~国内外における再接種の考え方を中心に~

東北文化学園大学医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰

ランチョンセミナー 5 8月19日(水) 12:10~13:00 第5会場 (B1F シャトレ)
(共催: 株式会社日立ハイテクノロジーズ)

LIVE 配信のみ (無観客開催)

座長: 清田 浩 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科)

「迅速同定・薬剤耐性遺伝子検出の結果を治療にどう活かすか」

一般財団法人平成紫川会小倉記念病院感染管理部 宮崎博章

ランチョンセミナー 6 8月19日(水) 12:10~13:00 第6会場 (B1F エトワール)
(共催: 塩野義製薬株式会社)

座長: 岩田 敏 (国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院感染症部)

「バロキサビルが我が国の医療界で着目される理由: Bipolar Perspective」

佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野 青木洋介

ランチョンセミナー 7 8月19日(水) 12:10~13:00 第7会場 (B1F ヴァンドーム)
(共催: 第一三共株式会社)

座長: 桑原正雄 (広島県感染症・疫病管理センター)

「インフルエンザの診断と治療の最新情報: 耐性ウイルス情報を含めて」

日本臨床内科医会インフルエンザ研究班 池松秀之

ランチョンセミナー 8 8月19日(水) 12:10~13:00 第8会場 (29F 銀河)
(共催: 東洋紡株式会社)

座長: 那須 勝 (医療法人社団恵愛会大分中村病院)

「革新的進歩を遂げる迅速核酸増幅検査と感染症専門医による医療現場での最適化について」

筑波メディカルセンター病院感染症内科 鈴木広道

ランチョンセミナー 9 8月19日(水) 12:10~13:00 第9会場 (29F 光)
(共催: ベックマン・コールター株式会社)

LIVE 配信のみ (無観客開催)

座長: 三澤成毅 (順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部)

「多剤耐性グラム陰性菌に対する感染対策と治療」 名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学 八木哲也

ランチョンセミナー 10 8月20日(木) 12:10~13:00 第1会場 (B1F パレロワイヤル A)
(共催: インスメッド合同会社)

LIVE 配信のみ (無観客開催)

座長: 工藤翔二 (公益財団法人結核予防会)

「肺非結核性抗酸菌症の国内疫学データ, 治療の現状と問題点」

新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野 菊地利明

ランチョンセミナー 11 8月20日(木) 12:10~13:00 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)
(共催: MSD 株式会社)

座長: 菅野治重 (公益財団法人鹿島病院)

「MRSA の感染制御—病態から考える診断と治療—」

福井大学医学部附属病院感染制御部感染症・膠原病内科 岩崎博道

ランチョンセミナー 12 8月20日(木) 12:10~13:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)
(共催: デンカ株式会社)

LIVE 配信のみ (無観客開催)

座長: 柴 孝也 (東京慈恵会医科大学)

「革新的技術と今後の感染症診断」

1. 半導体製造技術を用いた同時多項目・高感度検出技術~ π コード™テクノロジーの紹介

デンカ株式会社ライフィノベーション研究所 坂井健太郎

2. 感染症における迅速診断の有用性

東北医科薬科大学医学部感染症学教室 賀来満夫

ランチョンセミナー 13 8月20日(木) 12:10~13:00 第4会場 (B1F パレロワイヤル D)
(共催: 富士フイルム株式会社/富士フイルムメディカル株式会社)

座長: 赤池孝章 (東北大学大学院医学系研究科)

「環境リザーバーに起因する感染の制御」

東海大学医学部外科学系救命救急医学 梅澤和夫

ランチョンセミナー 14 8月20日(木) 12:10~13:00 第5会場 (B1F シャトレ)
(共催: MSD 株式会社)

座長: 立川夏夫 (横浜市立市民病院感染症内科)

「長期治療を見据えた HIV 感染症への最新の治療選択—新規 NNRTI 製剤ピフェルトロ®も含めて—」

国立国際医療研究センター 岡 慎一

ランチョンセミナー 15 8月20日(木) 12:10~13:00 第6会場 (B1F エトワール)
(共催: 旭化成ファーマ株式会社)

座長: 青木信樹 (信楽園病院)

「呼吸器感染症における適正抗菌薬使用~迅速診断法の進歩と活用」

関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科 宮下修仁

ランチョンセミナー 16 8月20日(木) 12:10~13:00 第7会場 (B1F ヴァンドーム)
(共催: ギリアド・サイエンシズ株式会社)

座長: 木村 哲 (東京医療保健大学)

「抗 HIV 療法の変遷, 新たな課題と展望」

東京医科大学臨床検査医学分野 木内 英

ランチョンセミナー 17 8月20日(木) 12:10~13:00 第8会場 (29F 銀河)
(共催: サノフィ株式会社)

座長: 山本善裕 (富山大学大学院医学薬学研究部感染予防医学講座)

「医療関係者への二次感染を防ぐ!—持ち込み感染症・輸入感染症への備え—」

愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋廣繁

ランチョンセミナー 18 8月20日(木) 12:10~13:00 第9会場 (29F 光)
(共催: Meiji Seika ファルマ株式会社)

座長: 川名明彦 (防衛医科大学校内科学講座 (感染症・呼吸器))

「薬剤耐性菌に関する最近の話題~気道感染症原因菌から腸内細菌科まで~」

奈良県立医科大学微生物感染症学 矢野寿一

ランチョンセミナー 19 8月20日(木) 12:10~13:00 第10会場 (29F 虹)
(共催: ニプロ株式会社)

座長: 前崎繁文 (埼玉医科大学感染症科・感染制御科)

「免疫不全患者における感染症」

虎の門病院臨床感染症科 荒岡秀樹

ランチョンセミナー 20 8月21日(金) 12:10~13:00 第2会場 (B1F パレロワイヤル B)
(共催: MSD 株式会社)

座長: 吉田 稔 (帝京大学医学部附属溝口病院第四内科)

「深在性真菌症マネジメントの将来展望」

1. 肺糸状菌感染症マネジメントの新機軸

大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

2. 進化する血液疾患治療における深在性真菌症予防の最新戦略

九州大学大学院病態修復内科学 宮本敏浩

ランチョンセミナー 21 8月21日(金) 12:10~13:00 第3会場 (B1F パレロワイヤル C)
(共催: アステラス製薬株式会社)

LIVE 配信のみ (無顧客開催)

座長: 一山 智 (滋賀県立総合病院/京都大学)

「Clostridioides difficile 感染症のマネジメント」

京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 長尾美紀

ランチョンセミナー 22 8月21日(金) 12:10~13:00 第4会場 (B1F パレロワイヤルD)
(共催:富士フィルム富山化学株式会社)

座長:武田博明(済生会山形済生病院呼吸器内科)

「小児呼吸器感染症 up-to-date—最新のトピックスと近未来予想—」 川崎医科大学小児科学講座 尾内一信

ランチョンセミナー 23 8月21日(金) 12:10~13:00 第5会場 (B1F シャトレ)
(共催:杏林製薬株式会社)

座長:千酌浩樹(鳥取大学医学部附属病院感染制御部)

「感染症における Molecular Diagnostics~進化と挑戦~」

東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野 青柳哲史

ランチョンセミナー 24 8月21日(金) 12:10~13:00 第6会場 (B1F エトワール)
(共催:大日本住友製薬株式会社)

座長:二木芳人(昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門)

「抗真菌薬の適正使用」

1. 侵襲性カンジダ症に対する抗真菌薬の適正使用

愛知医科大学病院感染症科, 愛知医科大学病院感染制御部 山岸由佳

2. 糸状菌感染症に対する抗真菌薬の適正使用

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野, 長崎大学病院感染制御教育センター 泉川公一

ランチョンセミナー 25 8月21日(金) 12:10~13:00 第7会場 (B1F ヴァンドーム)
(共催:ミヤリサン製薬株式会社)

座長:笹田昌孝(京都大学)

「One Health に基づく正しい感染症対策」

1. 動物における薬剤耐性菌の問題と対策

酪農学園大学動物薬教育研究センター 田村 豊

2. ヒトにおける薬剤耐性菌の問題と対策

東北医科薬科大学医学部感染症学教室 賀来満夫

ランチョンセミナー 26 8月21日(金) 12:10~13:00 第8会場 (29F 銀河)
(共催:ヴィーブヘルスケア株式会社/塩野義製薬株式会社)

座長:古賀一郎(ヴィーブヘルスケア株式会社)

「HIV Quick Update 2020 「60分でCatch upできるHIV治療の現在と臨床で直面する今日の課題」」

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター

エイズ先端医療研究部 HIV感染制御研究室 渡邊 大

東京医科大学病院臨床検査医学科 関谷綾子

ランチョンセミナー 27 8月21日(金) 12:10~13:00 第9会場 (29F 光)
(共催:アース製薬株式会社)

座長:安川正貴(愛媛大学プロテオサイエンスセンター免疫制御学部門)

「ダニ媒介性感染症の現況とマダニ対応策を探る」

医療法人新心会馬原医院 馬原文彦

ICD 講習会

ICD 講習会 8月21日(金) 17:00~19:00 第1会場 (B1F パレロワイヤルA)

「東京オリンピック・パラリンピック—事例から考える危機管理—」

司会：川名明彦（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器））

時松一成（昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門）

1. 結核集団感染事例から考える危機管理 結核予防会結核研究所抗酸菌部 御手洗聡
 2. 麻疹対策 大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘
 3. 髄膜炎菌 がん・感染症センター都立駒込病院 関谷紀貴
 4. 国内侵入リスクの高い熱帯ウイルス感染症 神奈川県衛生研究所 高崎智彦
 5. 東京オリンピック・パラリンピックを機に知っておきたい寄生虫感染症 東京都立墨東病院感染症科 中村（内山）ふくみ
 6. 蚊媒介性ウイルス感染症 国立国際医療研究センター国際感染症センター 忽那賢志
-

市民公開講座

市民公開講座3 8月21日(金) 17:30~19:00 第5会場 (B1F シャトレ)

(FUSEGU2020 主催)

「これからの国際的大規模イベントにおける感染対策

—新型コロナウイルスからの学び, その他の輸入感染症にも備えよう—

全体司会・オープニング: 三嶋廣繁 (愛知医科大学)

「新型コロナウイルスからの学び with コロナ・after コロナにおける私たちの生活 (仮)」

東邦大学 舘田一博

「国際的大規模イベントを迎える日本 その他の輸入感染症にも備えよう (仮)」

防衛医学研究センター 加來浩器

パネルディスカッション

「グローバル社会のなか, 感染症とどう付き合っていくのか—学生の視点も交えて— (仮)」

司会進行: 四柳 宏 (東京大学医科学研究所)

藤村 茂 (東北医科薬科大学)

パネリスト: 舘田一博, 吉田正樹, 三嶋廣繁, 加來浩器, 学生4名 (予定)

クロージング: 吉田正樹 (東京慈恵会医科大学)
